

研究開発課題中間評価結果

事業名（年度）	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業 （令和4年度～令和8年度）
研究開発課題名	ヒト免疫に関する京都大学サポート機関
代表機関名（所属 役職）	国立大学法人 京都大学（大学院医学研究科 免疫細胞生物学・教授）
研究開発代表者名	上野 英樹

【総合評価】 優れている

【評価コメント】

本機関長のリーダーシップとマネジメント力が十分に発揮され、免疫サポート機関として京都大学ヒト免疫モニタリングセンター（KIC）を立ち上げ、研究開発体制を統括して機関内の連携を図っている。この体制により、ワクチン免疫応答評価方法の標準化、ハイリスク群が感染後に重症化する免疫学的なメカニズムの解明などを着実に進めている。

拠点への具体的な支援実績はまだ限られているので、本サポート機関の特徴であるT細胞応答によるワクチン評価のための研究を強化し、コンソーシアムや本サポート機関の免疫解析能力を最大限に活かして、ワクチン開発につながる拠点への支援の具体化を進めることが必要である。学術的な論文作成を超えてワクチン開発にどこまで貢献できるかが重要である。また、本サポート機関が構想している実験動物系の3つのサポート機関との連携も実現することを期待する。

感染症有事にどのような解析を優先して実施すべきか、拠点や他のサポート機関とともに、平時に整理をしておくことも有用であり、機関間連携における本サポート機関のリーダーシップを引き続き期待する。

以上